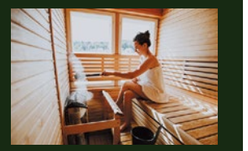
家でも職場でもない “3つ目の場所”

kolmas paikka –コルマスパイカ–

北欧に暮らすフィンランド人の多くは、夏の週末や休暇に別荘へ出かけます。別荘といっても大きく豪華なものではなく、誰でも持てるシンプルな建物で火を焚き、サウナや自然を楽しみ、心身ともにリラックスした時間を過ごします。
そんな北欧スタイルの休暇を叶えるのが「kolmas paikka(コルマスパイカ)」、
フィンランド語で“3つ目の場所”です。
自然に囲まれた最適なロケーションを、土地探しからお手伝いいたします。

標準装備 心と体を整えるフィンランドサウナ



本場フィンランドHARVIA製のサウナストーブを標準装備。薪でサウナストーンを温め、löyly(ロウリュ)も楽しめます。löyly(ロウリュ)はサウナストーンに水をかけたときの蒸気と熱を意味する言葉で、心と体をリラックスさせる効果があります。

標準装備 暖をとるだけでない、火そのものを楽しむ“遊び”道具 ── 薪ストーブ

薪をくべ、火をながめ、火の音を聞き、煮炊きする ─ それは単なる暖房器具としてだけではない火そのものを楽しむ”遊び”道具。全てのプランで北欧ノルウェーの老舗薪ストーブメーカー「JØTUL(ヨツール)」の薪ストーブを標準採用しています。

家でも職場でもない
“3つ目の場所 ”
–コルマスパイカ–
kolmas paikka

【AADA-アーダ-】

フィンランドの確かな品質、居住も可能な本格ログハウス

ログハウスキット(北欧パイン/92mm厚) ＋ 薪ストーブ / フィンランドサウナ / キッチン / シャワー&トイレ

34.98㎡(10.58坪)
延床19.08㎡+デッキ15.90㎡

パッケージ価格(税込)※ **410.4万円～**

※ログハウスキット・設備機器のみの販売となり、基礎・施工工事は別途お客様手配となります。

多彩な全5モデル7プラン掲載

カタログ請求受付中

本商品の全てのプランと価格を掲載したカタログを、無料にてお送りいたします。ご希望の方は下記フリーダイアル、またはWEBサイトの資料請求ページよりお問い合せください。

まずは一度、展示場でログハウスを体感してください。

お近くの全国フィール加盟店にてご覧いただけます。
詳しくはお電話またはWEBよりお問い合わせください。

ログハウスのことなら、お任せください。
0120-15-6983(いこーログやさん)
資料請求・メールでのお問い合わせはこちらから。
www.kinoie.co.jp

vol. 37 2019 summer

a periodical Tuuli

ログハウスファンとフィールブランドでつくるコミュニケーション情報誌

Owners Life
海を臨み、風薫るログハウス

from Finland
冬のフィンランド、
現地工場へ行ってきました!

Column
都会と田舎の2拠点生活、
「デュアラー」という生き方

海を臨み、風薫るログハウス

F様ご夫妻（茨城県日立市）

庭の緑や花の色が映える淡いベージュの爽やかなログハウス。
「山小屋風の茶系の色というよりは、軽やかな色の方がこの場所には似合うと思ったのと、再塗装の際に濃い色にすることができるので、まずはこの色で決めました。」
そうお話ししてくださったのは、このログハウスのオーナー様。

今回のオーナーズライフは、茨城県日立市の海岸沿いに去年ログハウスをご建築頂いたF様ご夫妻を紹介します。

以前のお住まいでは、2人のお子様と3匹のワンちゃんと共に暮らしていたというF様ご夫妻。転機となったのが2011年に起こった東日本大震災。日立市でも震度6の揺れを観測し、F様ご夫妻の家もところどころに傷みが生じてしまいました。
修繕リフォームも検討しましたが、その時すでにお子様も独立しご夫婦とワンちゃん1匹での暮らしになっていたこともあり、丁度良い大きさの家に建て替えることに決めたそうです。
建て替えるなら木のぬくもりの感じる家に住みたいと、HPをご覧頂き当社のFeel-J江の島展示場へご来場いただきました。
「実は江の島に遊びに行く目的で、江の島展示場にお邪魔しました（笑）」
「もともとはログハウスというのは全く考えていなかったので、Feel-Jブランドの展示場である江の島展示場を見学しましたが、説明を聞いているうちにログハウスもよさそうだなと思いました。特に前の家が寒かったので、ログハウスは暖かいという話には惹かれましたね。」

―実際にお住まいになって、寒さの感じ方はいかがでしょうか。
「ログハウスに住んでからは、冬の底冷えがなくなりました。エアコンだけで十分暖まります。」
「あとログハウスで驚いたのが、家が揺れない事。ここはすごく風が強い地域で、以前は風で家が揺れていたんですが、ログハウスではそれがなくなりましたね。」
分厚いログ材を使用し、木が持つ蓄熱性や調湿性能を活かした快適な住空間を実現するログハウスは、一般住宅に比べて約5倍とも言われる圧倒的な木の使用量で、その重さによって風にも強い堅牢な住まいになります。

お話をさせて頂くうちに、だんだんとどうせ建てるならログハウスで、と思うようになっ

たというＦ様ご夫妻。
「その後も色々なログメーカーを見ましたが、最終的にフェニックスホームさんに決めたのは、やっぱり設計の自由度が決め手でしたね。」
「ずっと、正方形に近いプランで何回も何回も修正をして頂いていたのに、土壇場で全然違う横長のプランにしたいって伝えても、すぐに対応してもらえたのはちょっと感激しました。しかもそのプランがピッタリはまったというか、すごく良くて！」

プラン形状を活かしてLDKを一直線に配置した1階は、ダイニングとリビングの間に引き戸を設け、繋げて使うだけでなく仕切ってプライベート空間としても使えるようにしたところがこだわりだそう。キッチンカウンターには、ペンダントライトのデザインを活かして観葉植物やめだかの水槽を配置し、ビオトープのようなインテリアに。

2階にあがると海を臨むロフト、そこからフラットに続くベランダにはお昼寝ができるハンモックもあり、家族が思い思いに使えるフリースペースです。
「海の見えるこのスペースは本当に気持ちよくて、趣味のパッチワークもすごくやる気が出ます。」と奥様。
「ここにもスイッチがあったらよかった…等、住んでみて思うところはありましたが、プランはとっても満足しています。使っていない無駄なスペースというのがないんです。」

横長プランにすることで、ワイドなウッドデッキに面した広いお庭もできました。
「潮風が強くて生育が難しい植物もありますが、ログハウスに似合う庭にしたいですね。」
と、美しく芝の敷かれたお庭ではＦ様がお庭づくりに奮闘中とのこと。
まだまだ始まったばかりのＦ様ご夫妻のログハウス生活。少しずつ味わいを増していくログハウスと共に満喫して頂ければと思います。

From Finland

冬のフィンランド、現地工場へ行ってきました!

今年２月、日本は冬真っ只中―北部が北極圏に位置するフィンランドでは極端に日照時間が短くなり、最も寒さの厳しい極夜の時期が明け、ようやく日照時間が増えてきた頃―当社のログ材を加工しているフィンランドの工場へ視察に行ってきました。

フィンランドへは日本から約10時間のフライト、フィンエアーの「欧州最速」というキャッチコピー通り、ヨーロッパの中でもとても短い時間で行くことが可能です。
工場へは、首都ヘルシンキ近郊の国際空港に到着してすぐに国内線に乗り換えて、近くの街バーサまで向かいます。あとは車でひたすらと進めば、1時間半ほどでアラヤルヴィという小さな町のFeel工場に到着です。

日本で車移動する感覚とは違い、1時間半の走行でも軽く130kmほどあります（北海道も似たような感覚かもしれませんね）。夏季であれば、白樺林と湖といったフィンランドの大自然を感じながらのドライブですが、冬ということもあり、深々とした静かな風景に少し寂しさを感じます。
フィンランドに到着した日はその冬最後の寒い日だったようで、南寄りのこの町でも -23℃という極寒を体感し、輝くダイヤモンドダストが普通に見られる光景には改めてフィンランドに来た実感を受けました。

工場には定期的に訪問していて、主にお客様のすまいに使用されるログ材の品質と加工のチェックを行い、常に高い品質を維持できるようにしています。

今回の訪問でも現地スタッフとのミーティングを行い、日本のお客様により満足して頂けるように今までご建築頂いたお客様からのご意見や感想などを踏まえて、改善点や新しい取り組みなどを話し合いました。
工場以外にも建具メーカーなどを回り、ログハウスをはじめ住宅市場の動向など、現地の最新情報の収集を行いました。
住宅の快適性への意識が日本に比べて軒並み高い欧州の中でも、真冬は -40℃まで下がることもある北欧では、建物に対する断熱・蓄熱への意識がとても高く、各メーカーが質の高い製品を作っています。

さて、寒かったのも初日だけで、その後は -5～0℃くらいの比較的落ち着いた寒さが続きました。真冬は閑散とし、いつもは外を歩く人がいなくなるフィンランドですが、視察期間中がちょうど国民の長期休暇にあたったようで、海外観光客ではなくフィンランドの方々で街は活気にあふれていました。
そしてフィンランド渡航の際の楽しみとして、やはりサウナは欠かせません。サウナで会議をした方が捗る、と言われるほど国民の間で古くから親しまれ、日常の一部となっているサウナ。以前にこのコーナーでも特集をしているので、気になる方はチェックしてみてくださいね。
とにかく日本のサウナとは全く違い、一度体験したら世界観が変わると言っても過言ではありません！
ちなみに現地の方に日本のサウナ文化について訊かれたので、“TVを観ながら入る”と伝えるととても笑っていました。

フィンランドを訪れるたびに、季節毎の美しい自然や気候が感じられ、そして正直で素朴な国民性は日本人にとっても居心地がよく、馴染みやすい国だと思います。
皆様も次のご旅行先として、候補に入れてみてはいかがでしょうか。
きっと満足して頂けるはずですよ。

COLUMN

都会と田舎の２拠点生活、「デュアラー」という生き方。

2019年の住宅トレンド予想として発表された「デュアラー」というキーワード。
新しい生活スタイルの１つとして今、注目が集まっています。
今回はこのまだまだ聞き慣れない
「デュアラー」について、ご紹介します。

「デュアラー」とは？と思うのも当然で、まだそれほど認知度が高くない言葉ですが、この生活スタイル自体は、以前からあるものと言えます。

そもそも「デュアラー」とは、普段は都会で生活をし、休日には自然の中の別荘で過ごす、といった２拠点生活（デュアルライフ）を楽しむ人という意味で、古くは「別荘族」という言葉で表されるような、都会の喧騒を離れ自然豊かな場所に別荘を建てて避暑や余暇を過ごすといった、昔から富裕層や文化人・定年退職後の方が多く選択されていた生活スタイルでもあります。

それがなぜ今、注目されるかというと近年、都市部への人口集中に伴い都会育ちの20～30代のファミリー層や若い世代の間で、自然の中での生活や田舎暮らしへの憧れが高まり、熱い支持を受けている点が挙げられます。

とはいえ都会暮らしの多くの人にとって、利便性の高い都心を離れて完全に移住するのはなかなか難しいもの。だからこそ、「２時間ほどで行ける郊外」に「ちょっとした拠点」を設けて休暇を楽しむスタイルが選ばれているのです。

それには「ワークライフバランス」など生活に対する意識の変化や、趣味に費やす時間が増えたこと、IT化により場所や時間に縛られない働き方が可能になったことなども後押しになっていると推測されます。

最近では空家を安く購入しリノベーションを行ったり、安価な田舎の土地を購入し小さな小屋を建てたりと、少ない投資で豊かな生活を送れる様々な選択肢があります。使わない時には賃貸や民泊として使用すれば、収益もあげられるような賢いやり方もあります。

デュアルライフのメリットは若い世代だけでなく、リタイアを機に田舎暮らしを選ばれた方にとっても、年齢と共に再び利便性の高い都会の拠点に戻るといった選択が可能です。
“人生100年”と言われる時代になった今、多様な生き方を求める方が増えているのだと実感します。

普段は都会で様々な刺激を受け、休暇は寝泊りが出来るくらいの小さな拠点で、のんびり心豊かな生活を送る。そんな生き方が当たり前になる日も近いかもしれません。「デュアラー」という選択肢、いかがでしょうか。

デュアルライフに最適
住居も可能な本格ログハウス

家でも職場でもない
“3つ目の場所”
kolmas paikka
（コルマスパイカ）

詳しくは裏表紙をご覧ください。

完成物件・建設中物件のご紹介

完成物件

- A様邸　神奈川県川崎市　住
- T様邸　埼玉県久喜市　住
- S様邸　埼玉県小川町　店
- T様邸　神奈川県厚木市　住
- I様邸　神奈川県横浜市　住
- T様邸　神奈川県相模原市　住

建設中物件

- T様邸　東京都板橋区　住
- T様邸　東京都新島村　住
- T様邸　神奈川県横浜市　住
- Y様邸　千葉県八街市　住
- A様邸　東京都新宿区　店 住
- K様邸　栃木県那須町　別
- W様邸　東京都大島町　住
- S様邸　埼玉県小川町　住
- S様邸　埼玉県桶川市　住
- Y様邸　埼玉県蕨市　店
- S様邸　埼玉県川口市　店
- M様邸　栃木県那須町　別
- S様邸　神奈川県平塚市　賃

住 住宅　店 店舗・事務所　別 別荘　賃 賃貸住宅

埼玉県小川町　S様邸　**Feel-J**

切妻屋根に外壁をログサイディングで仕上げた、自然と調和するFeel-Jの一棟。在来工法ながら室内外ともにログハウスと変わらない佇まいで、経年変化や塗装も楽しめます。

埼玉県久喜市　T様邸　**Feel-J**

メンテナンス性の高い金属サイディングをベースに、ウッドサイディングでアクセントをつけデザイン性も高めた一棟。大きな納戸やトイレ一体型の広い洗面室など、ライフスタイルに合わせて細部までこだわった設計です。

東京都大島町　W様邸　**Feel-G**

ダブルドーマーでロフト部分を居室として有効活用できるプランとしたFeel-Gログハウス。吹抜けを設けた開放感のあるダイニングからは、シーリングファンにより薪ストーブの熱を家中に届けます。

神奈川県横浜市　T様邸　**Feel-A**

グランピングルーフを備えたFeel-Aの一棟。上棟し、その特徴的な姿が見えてきました。リビングに引き戸を開放して一体で使える便利な和室や、階段下の空間を利用したペットスペースを設けるなど、ご家族みんながくつろげるプランニングです。

Webサイトで物件の詳しい写真をご覧いただけます。**www.kinoie.co.jp**

EVENT REPORT

平成最後の 薪ストーブメンテナンスイベント開催しました!!

4月14日（日）、薪ストーブイベントを開催しオーナー様をはじめ沢山のお客様にご来場頂きました。
今回のイベントはメンテナンス編という事で、薪ストーブのメンテナンス講習にご参加頂いた皆様は大変熱心に耳を傾け、時間の許す限りご質問や情報交換をされていました。また、今回初登場のこれからの季節にぴったりなWeber社製BBQグリルの製品展示や、焚き付けづくりに便利なキンドリングクラッカーの体験なども興味を持って頂けたようで、屋外ブースも盛況のうちに無事イベントは幕を閉じました。
秋には薪ストーブの使い方講習を中心としたイベントを開催予定です。

次回もお楽しみに！